

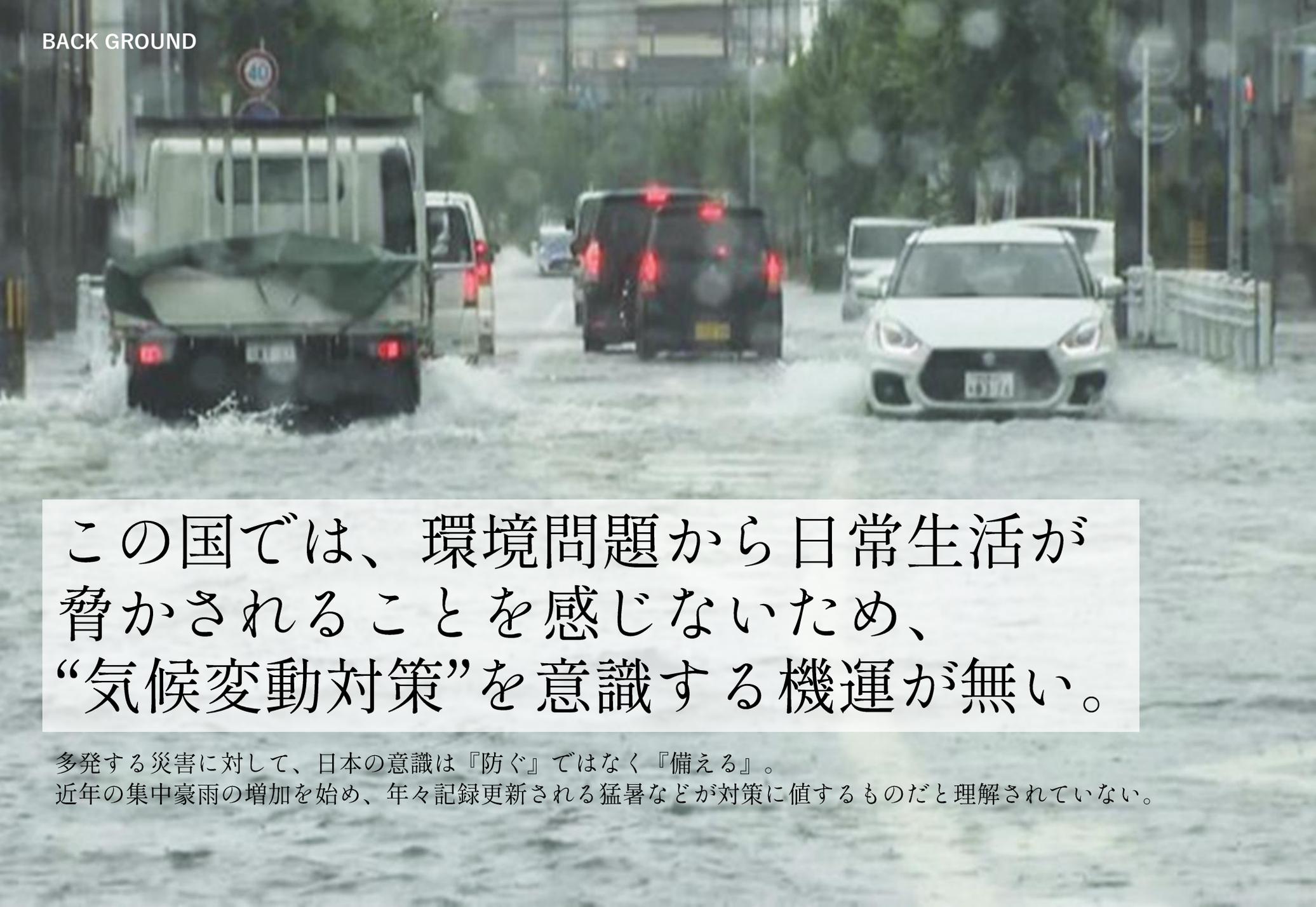


時限絶景遺産

この景色が姿を消すまで

000年 000日 00時 00分 00秒

20106



この国では、環境問題から日常生活が脅かされることを感じないため、“気候変動対策”を意識する機運が無い。

多発する災害に対して、日本の意識は『防ぐ』ではなく『備える』。
近年の集中豪雨の増加を始め、年々記録更新される猛暑などが対策に値するものだと理解されていない。

気候変動の影響で“四季が消滅してしまう”と予測されている。
日本各地の“四季折々の絶景”も同様に無くなる未来がある。

極端に短い春が過ぎ、長い梅雨が来る。昨今大きな被害をもたらす集中豪雨の多発も、温暖化の影響による気候変動が原因。
秋の真っ只中で台風が猛威を振るい、秋晴や紅葉を楽しめる期間が大幅に短くなった。秋が無くなると夏の猛暑は長期化。
近年の異常気象は序章に過ぎない。



日本が重んじる“四季の文化”、“四季折々の絶景”。

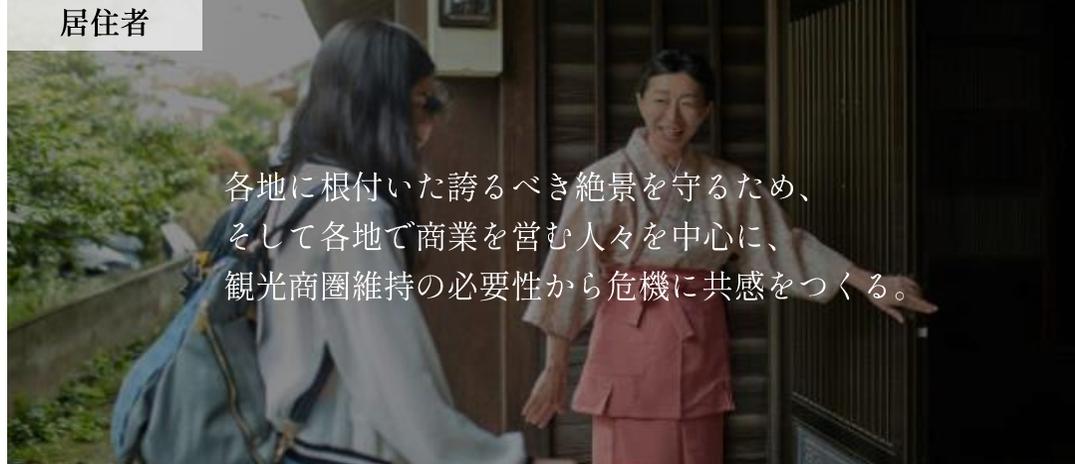
気候変動対策を投じなければ、そう遠くない未来、姿を消してもおかしくない状況まで来てしまった。

TARGET

絶景及び観光資源の消滅は、 エリアを取巻く人々に影響 を与える。

各地に存在する観光資源は、エリアの利害関係者にとって誇るべきシンボルや観光商圈の中心であり、人や経済を動かす可能性を有している。

居住者



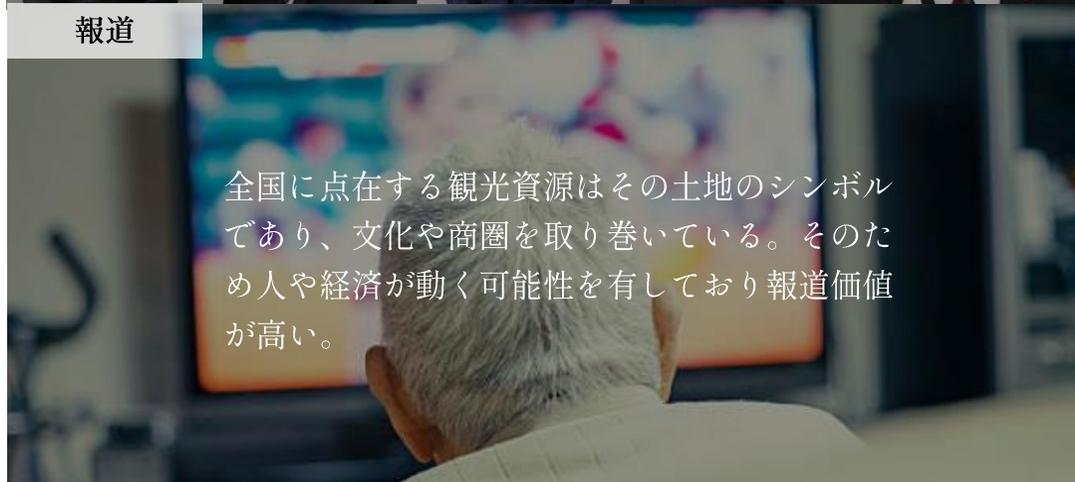
各地に根付いた誇るべき絶景を守るため、そして各地で商業を営む人々を中心に、観光商圈維持の必要性から危機に共感をつくる。

行政



観光資源を守ることは、地域住民や企業を取り巻く地方経済圏の維持や活性化に繋がる。

報道



全国に点在する観光資源はその土地のシンボルであり、文化や商圈を取り巻いている。そのため人や経済が動く可能性を有しており報道価値が高い。

日本ユネスコ協会連盟認定

「時限絶景遺産」

四季の消滅で姿を消してしまう
日本各地にある“四季折々の絶景”を保護対象として遺産認定。

絶景が姿を消すと予測される日に向かって
カウントダウンが進む時計塔を時間のシンボルとして設置。

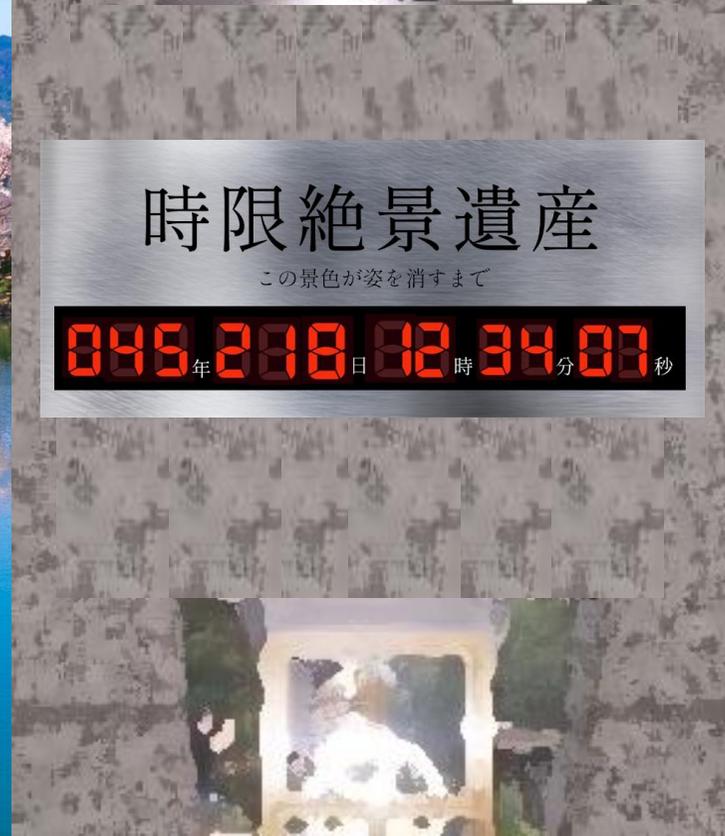
202X年6月5日の環境の日を皮切りに
時限絶景遺産のカウントダウンの停止を阻止するべく
気候変動対策の喚起キャンペーンを開始。



時限絶景遺産

この景色が姿を消すまで

049年 218日 12時 34分 07秒



気候変動科学 専門教授 東京大学先端科学技術研究センター 中村尚教授を識者に

各都道府県で時限絶景遺産を認定

『時限絶景遺産』を日本・世界に発信することは観光商圈の活性化に繋がるだけでなく、これらを取り巻くすべての事象が、気候変動問題の認識や態度変容のきっかけとなる。



【 北海道 網走オホーツク海（冬）】

『「日本の四季」がなくなる日』を執筆し、日本の四季が無くなる未来を予測する中村尚教授を識者に、日本ユネスコ協会連盟、環境省、国立環境研究所、各都道府県知事と共に各地の時限絶景遺産を選出。

中村尚教授の研究を中心として、気候変動による四季の乱れやその影響で姿を消してしまう絶景の未来を予測。時限絶景となる景気やその時限を設定していく。

「守ろう・時限絶景遺産」キャンペーン

各都道府県がサステナブル企業と手を組み、
時限絶景遺産を守るための公約を掲げる。

環境省および各都道府県知事が提唱する気候変動対策喚起キャンペーン。

CO2削減へ積極的に取り組む企業を年間パートナーとして募集、各時限絶景遺産を守るためエリア内でビジネスを推進。

時限絶景遺産
この景色が姿を消すまで

045年 218日 12時 34分 07秒

【 京都府・城南宮（春）】
〇〇とサステナブルなお土産産業を活性化します

【 兵庫県・竹田城跡（秋）】
〇〇〇と電動スクーターの普及を目指します

【 広島県・厳島神社（冬）】
〇〇〇〇とご当地グルメのビーガンフード
発展に取り組みます

【 北海道・網走オホーツク海（冬）】
〇〇と北海道の冬を共に越せる
サステナブルな衣類の普及を目指します

【 長野県・中川村（春）】
〇〇〇と相乗りタクシーの普及を目指します

日常生活の中で**接点が少ないCO2削減商品**と**生活者を結びつける**きっかけに。

サービスを利用することがCO2削減に繋がり、カウントダウン時間を加算する手段になる。

エリア同士の競争意識を生むことが、 “時限絶景遺産”を報道する動機に。

「時限絶景遺産」が各自治体に紐づいていることが、カウントダウン時間を増やす競争意識を高める構造になる。よって各自治体で独自の気候変動対策運動が生まれることが期待でき、取り組みが各エリアで報道されるきっかけになる。



毎年6月5日（環境の日）に公約の成果発表

- 成果を数値化し時計塔のカウントダウン時間に加算
 パートナー企業のサービスと一般的なサービス使用時の比較をもってCO2 1kgの削減が何秒相当となるかを算出し加算していく。
 一人一人の行動の積み重ねが気候変動対策につながることを可視化。
- 「時限絶景遺産を守る」優れた活動を行った自治体を表彰
 活動を表彰する仕組みが、自治体の一致団結や、優れた企業を発掘する機会となる。様々な企業が参入できるシステムにすることで時限絶景遺産”を軸に気候変動対策ビジネスの推進を目指す。



“時限絶景遺産”を守る行動から

生活者・企業・自治体と三方よしの関係性をつくる

企業にとっては商品を手にしてもらおう機会、生活者にとっては新しい商品と出会う機会になることで、生活や経済の活性化を目指しながら、気候変動対策への具体的なアクションを普及させていく。



気候変動対策を日常と密接に。

日本・時限絶景遺産を起点に、世界の四季ある国を中心とした気候変動対策として展開も。

Timed Landscape heritage カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど・・・

日本と同様、各国の四季折々の絶景を守る気候変動対策キャンペーンとして、国境を越えた実施も見込めます。

「守ろう・時限絶景遺産」キャンペーンを通して
一人一人の行動が「気候変動対策」に繋がる実感、日常的に心掛ける機運をつくることで、
CO2排出量を抑える行動の浸透を目指していきます。

時限絶景遺産

— この景色が姿を消すまで —

PROBLEM

日本では気候変動の緊急性に対する理解が十分になく、対策の必要性を感じる機運がない。そのため個々人の行動次第で状況が変わる認識と、今すぐ”行動しなければいけない”と共感する事実を伝える必要がある。

KEY FACT



日本の文化と密接にある“四季”。気候変動の影響で“四季が消滅する”と予測されており、日本各地の“四季折々の絶景”も無くなる未来がある。

IDEA

四季の消滅で姿を消してしまう“四季折々の絶景”を保護対象として遺産認定、国際的環境保護団体の下「時限絶景遺産」プロジェクトを設立。絶景が姿を消すと予測される日に向かってカウントダウンが進む時計塔を各都道府県の絶景エリアに設置。

ACTIONS

「守ろう・時限絶景遺産」キャンペーンを実施。各都道府県が環境問題へ積極的に取り組む企業パートナーを募集し、共に各エリアの時限絶景遺産を守るための公約を掲げる。エリア内で企業のサービスを推進し、現地や日常で利用することが気候変動対策及びカウントダウンの進行阻止に繋がると発信。



ACTIONS

毎年環境の日に成果発表を実施し、優れた活動を行った自治体や企業を表彰。世の中の活動への評価を高め、気候変動ビジネスを推進。「時限絶景遺産」は新たな観光資源になりながら、日本・世界に発信すること自体が気候変動問題の認識・態度変容を起こすきっかけになる。

PROJECT STRUCTURE

環境省、気候変動科学専門家、国際的環境保護団体、各都道府県の地方自治体、企業

“時限絶景遺産”を取り巻く生活者・企業・自治体全ての行動が、生活や経済の活性化に繋がりながら気候変動対策のアクションになる。



CHALLENGE

「守ろう・時限絶景遺産」キャンペーンを通して対策をしなければならないという緊急性、一人一人の行動が「対策」に繋がる実感、そしてその機運をつくることで気候変動対策の浸透を目指す。